

9月の園だより

令和6年(2024)8月

あおぞら園

外に出ればまだまだ汗ばむ季節ではありますが、少しずつ秋の訪れを感じているこの頃。プールに納涼祭など色々な体験を楽しんだ夏が終わり、新しい季節の訪れに、ちょっとソワソワしている子どもたち。ですが、夏休みが明けて久しぶりに子どもたちに会うと、4月の頃と比べ少しお兄さん、お姉さんになったように感じました。秋には遠足や運動会など様々な行事が予定されています。その行事を通して子どもたちが成長した姿を見られることを楽しみにしています。



2日(月) グループ別活動

避難訓練、引き渡し訓練

10日(火) 遠足

12日(木) 全体活動

16日(月) 休園日(敬老の日)

23日(月) 休園日(振替休日)

26日(木) 全体活動

※毎週水曜日は13時降園です。

☆お知らせとお願い☆

- ・まだまだ日中は気温が高い日や、日差しが強い日も多いので、水分が摂りにくいお子様は熱中症予防のため、日頃ご家庭で飲まれているものを水筒に入れてご持参ください。
- ・2日には避難訓練、引き渡し訓練を予定しています。詳細につきましては改めてお知らせしますので、そちらを確認していただくようお願いいたします。



十五夜といえば、一般的にはお月見をする旧暦8月15日の「十五夜」をさします。十五夜は「中秋の名月」と呼ばれる秋の美しい月を観賞しながら、秋の収穫に感謝をする行事です。

旧暦では7月～9月が秋にあたり、初秋は台風や長雨が続きますが、中秋は秋晴れも多く空が澄んで月が美しく見えます。お月見の風習は中国から伝わり、当初は平安貴族が月見の宴を催して風雅を楽しんでいました。やがて月見が庶民に広がると、実りに感謝する行事になっていき、芋類の収穫祝いのかねているため、「芋名月(いもめいげつ)」という別名で呼ばれるようにもなりました。

十五夜に月見だんご、すすき、芋などの収穫物を供えるのは、さまざまな物事の結実に対して感謝と祈りを捧げるため、日本文化の特徴といえます。日本では、月の模様を「うさぎが餅をついている」と捉えますが、月うさぎは慈悲の心の象徴であり、月に寄せる思いの深さを感じられます。

ほけんだより

夏休みが終わり、子ども達が大きな事故やケガなく元気に登園してくる姿をみて安心しました。心も体も成長し、思い出も沢山できた素敵な夏休みになったことと思います。

今年の夏は猛暑日が続き、とても暑かったですね。昼も夜も暑い日が続いて食欲が低下したり、眠りにくかったりして体に疲れがたまっています。秋のはじめはそんな暑さが体調不良となって現れやすい時期です。お腹の調子を崩したり、風邪をひきやすくなったりします。いつも以上に体調の変化に気を配り、調子の悪い時は早めに休養がとれるように配慮してあげてください。

★とびひの増える季節です★

とびひは夏の疲れが出る8月の終わりから9月頃に多くなります。虫刺されの跡や傷に菌がついて発症することが多いようです。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか治らない」というのがとびひの始まりのサイン。やがて痒みの強い水泡ができます。これをかきこわした手で他の所をかくと、そこにもとびひがひろがります。

～～ご家庭での手当て～～

❀ じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってからガーゼで覆う。

❀ お風呂では湯船につからず、シャワーで洗い流して清潔を保つ。

❀ 湯上がりはこすらずふき取り薬を塗る。

※患部が乾燥すればうつる心配はありません。じゅくじゅくしていたら、ガーゼで覆いましょう。

あおぞら園での登園の可否について

あおぞら園では、患部が乾燥しているか、ジクジクした部位が覆える程度のものになれば登園できます。
原因不明の発疹がみられた場合は、受診して医師の指示を仰いでください。

❀納涼祭の様子❀

8月3日(土)に納涼祭が行われました。ご参加ありがとうございました。各遊びのコーナーで遊んでいるときや、花火を見ているときなど、保護者の方と子どもたちの素敵な笑顔を見ることができて、職員一同とても良い機会になったと思いました。また、暑い中、セレモニーを盛り上げて下さりうれしい限りです。本当にありがとうございました。また来年度も機会がありましたらよろしくお願いいたします。

